

CTC

Challenging Tomorrow's Changes

セキュアなクラウド型ファイル共有サービス

box のご紹介

2015年11月16日

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
情報通信事業企画室 クラウドサービス営業部

宮田 恒毅

■会社概要

設立 : 2005年 (NASDAQ:)
 本社 : 米国カリフォルニア州ロスアルトス



出資ベンチャーキャピタル

ANDREESSEN
HOROWITZ
USVP
U.S. VENTURE PARTNERS

intel capital
SCALE
Venture Partners

SAP VENTURES

EMERGENCE
CAPITAL PARTNERS

DFJ

BESSEMER
VENTURE PARTNERS

NEA.

GENERAL
ATLANTIC

MERITECH
CAPITAL PARTNERS

CEO : Aaron Levie
 社員数 : 1,100名 +
 拠点 : 米国サンフランシスコ、ロンドン、東京
 サービス : クラウド型 法人向けファイル共有 & 管理サービスの提供

■ボックス・ジャパン株式会社

設立 : 2013年8月
 住所 : 東京 丸の内
 代表取締役 : 古市 克典
 従業員数 : 20名+ 営業、マーケ、事業開発、エンジニア、保守など豊富な業界経験



FORTUNE
500 × 51%

米国を中心に47,000社以上、3,700万ユーザが利用中

300%

過去1年間の
文教での
成長

150超

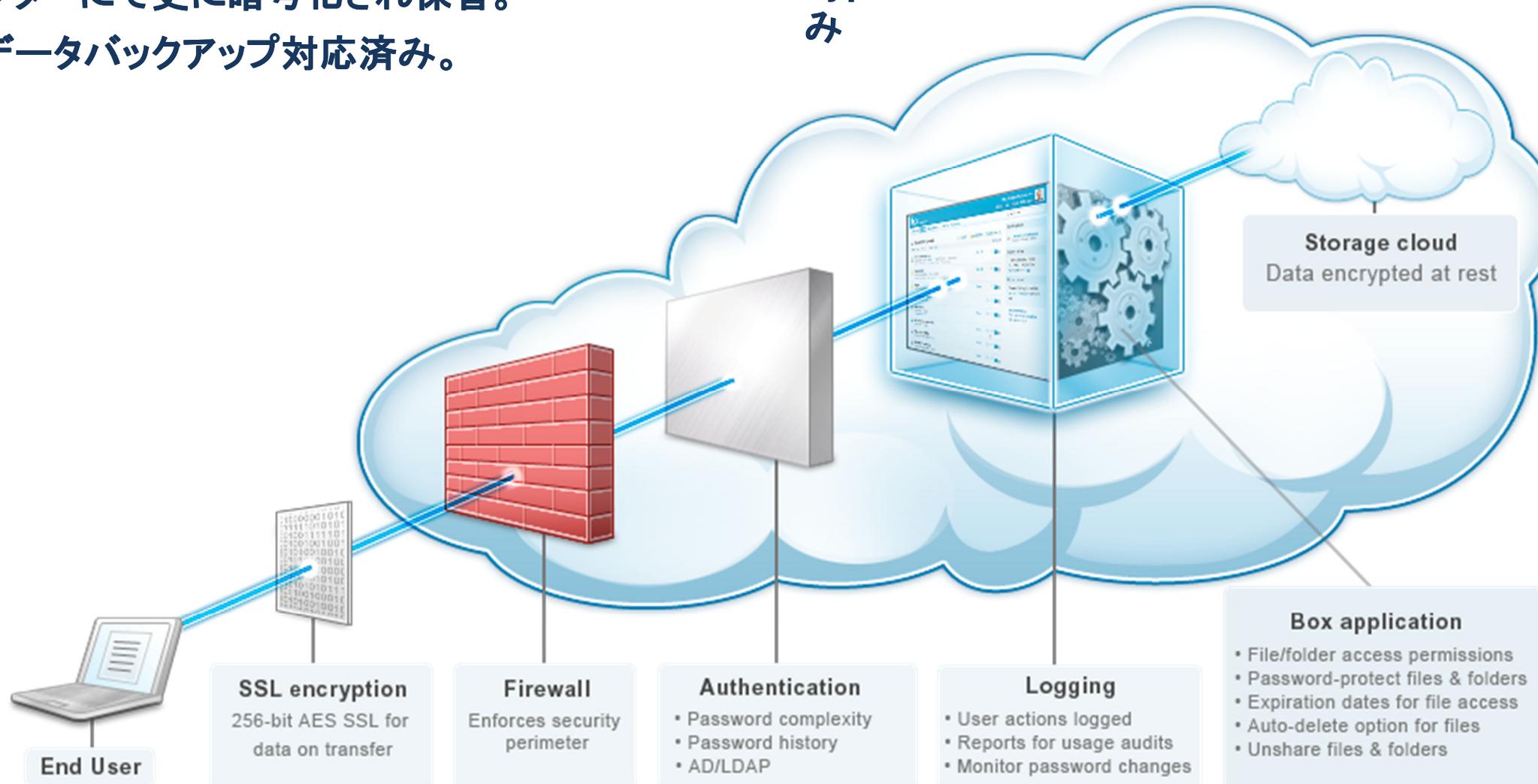
K-12から大学
で有償のBox
サービスを利用する
大学・学校数

2.5M+

Internet2から
購入した
有償ユーザ数



- 米国3州/3棟で地理的に分散し、ミラーリングの上データ保持。
 - データ暗号化済み。暗号化キーは別センターにて更に暗号化され保管。
 - データバックアップ対応済み。
- SSAE16 Type II に基づく保証報告書を取得。運用とセキュリティに関する内部統制の有効性を保持。※SSAE16 Type II はCTCデータセンターも取得済み





SSAE16 Type II, SOC1とSOC2第三機関によるテストと検証済み
米国公認会計士協会が定めた、受託業務(各種アウトソーシングサービス等)を行う会社の、内部統制の有効性を評価する保証基準



Safe Harbor(国際データ保護規制の管理と施行)
EU、スイスから米国へ転送される個人データの収集、保存、使用、転送およびその他の処理に関して、米国商務省により公示された Safe Harbor プライバシー原則を遵守 国境を越えた個人データのやり取りが可能



Cloud Security Alliance会員
クラウドセキュリティのベストプラクティスを推進する国際的に活動を展開している非営利法人



国際規格 ISO 27001
情報資産を様々な脅威から守り、リスクを軽減させるための総合的な情報セキュリティ・マネジメントシステム準拠



HIPAAとHITECH
米国保健社会福祉省が定めた健康情報(個人情報を含む医療情報)に関するプライバシールール及び、セキュリティルールを満たしている

法人向けファイルコラボレーションサービス「Box」



box

セキュア

- 全て暗号化
- アクセス権限設定
- 59項目のログ

大規模導入

- 容量無制限
- 数万人での導入実績
- AD連携

グローバル展開

- 12か国語対応
- SafeHarbor対応
- HIPPA対応

使いやすい

- オンライン編集
- バージョン管理
- コメント付与

シンプルで使いやすい、企業向けにセキュアだから世界が認める

・管理者からの要望の多い**アクセスログ検索** & **管理機能**が充実

・データは米国内三カ所のデータセンターで**暗号化**され、分散して保存

⇒オンプレ保管以上に**セキュア**に利用可能

・**22地域の言語**に対応しており、グローバルでの利用が可能

⇒**海外研究拠点・外国大学と共同研究、海外出張**での利用にも即対応可能

・**保存容量無制限**で継続利用可能

・**数名～数万人@**大学でも採用可能

⇒法人向けクラウドファイルサーバーとして**大学規模**に関わらず利用可能

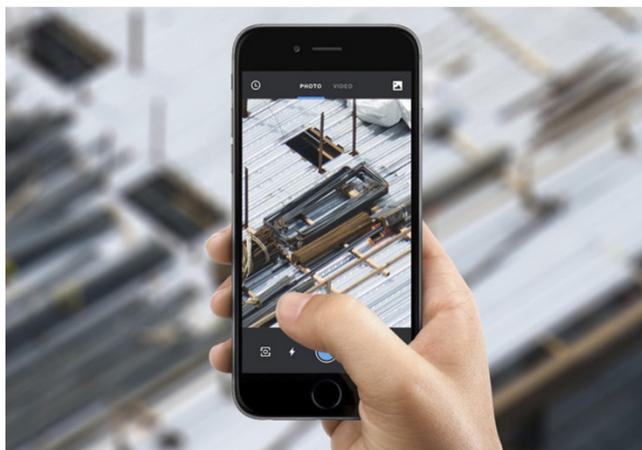
・**オンラインファイル編集**や**ファイルへのコメント記載**、**フルテキスト検索**など便利な機能が充実

・プレビュー可能ファイル数 **140種類以上**

・**版管理可能**

・**マルチOS、マルチデバイス**で利用可能

⇒**利用者が便利な機能**で作業効率向上

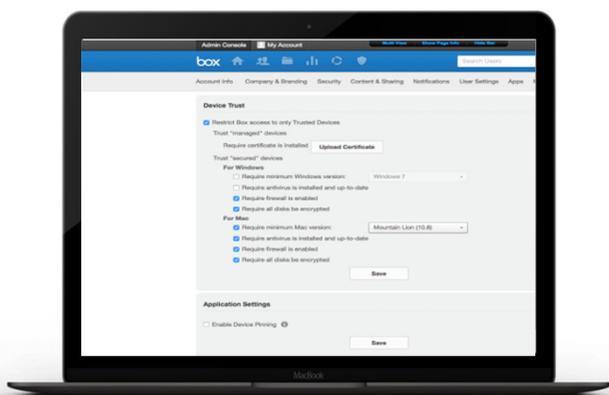
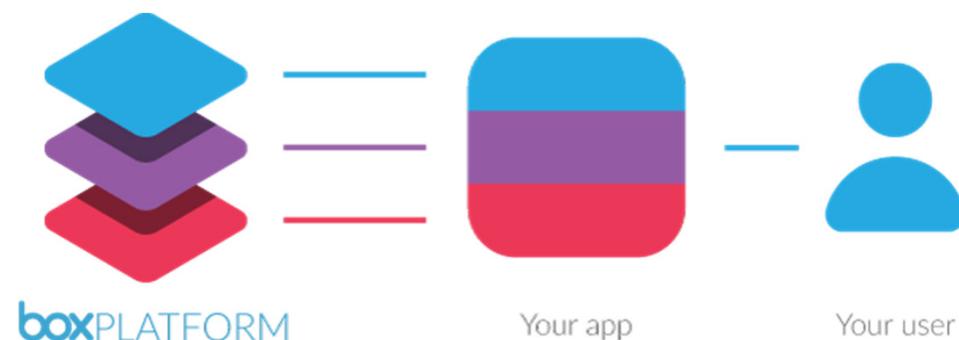


■ Box Capture

写真やビデオをiPhone、iPad から携帯端末に残さずUploadするアプリケーション
追加開発も可能

■ Box Platform

サービスのための新たなプログラム
Boxの優位性を生かし、自社アプリケーションの
バックボーンとして利用可能



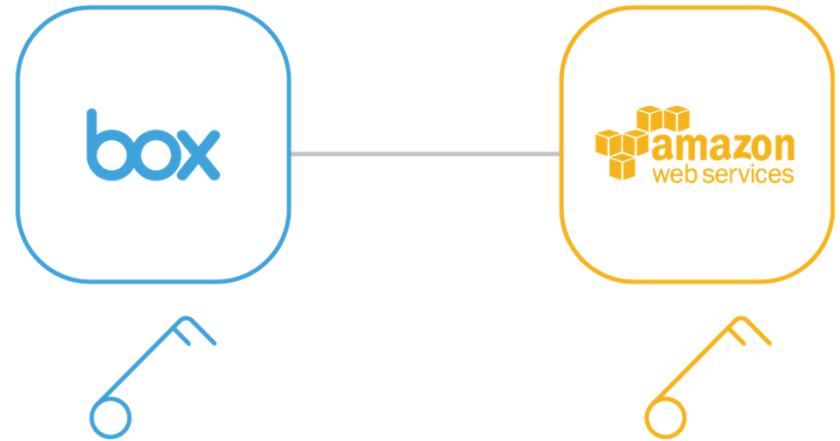
■ Device Trust

端末に証明書を埋め込むことで任意の端末からの
アクセスのみを許可することが可能



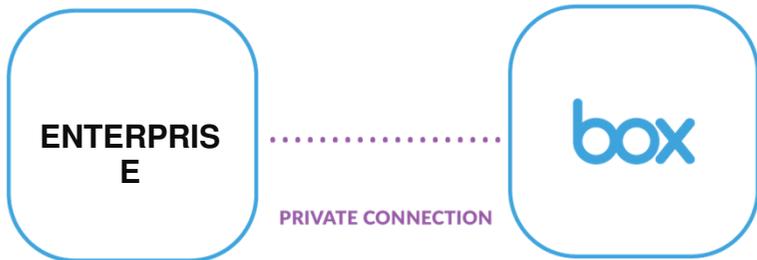
■透かし機能

プレビューしたファイルを写真に撮られたりするリスクを抑えるため、ファイルに透かし機能を追加しトレーサビリティを向上させる
 年末実装予定



■EKM ソリューション

暗号化キーをAWS Key Management Service 上で
 コントロールできるサービス
 2016年サービス開始予定

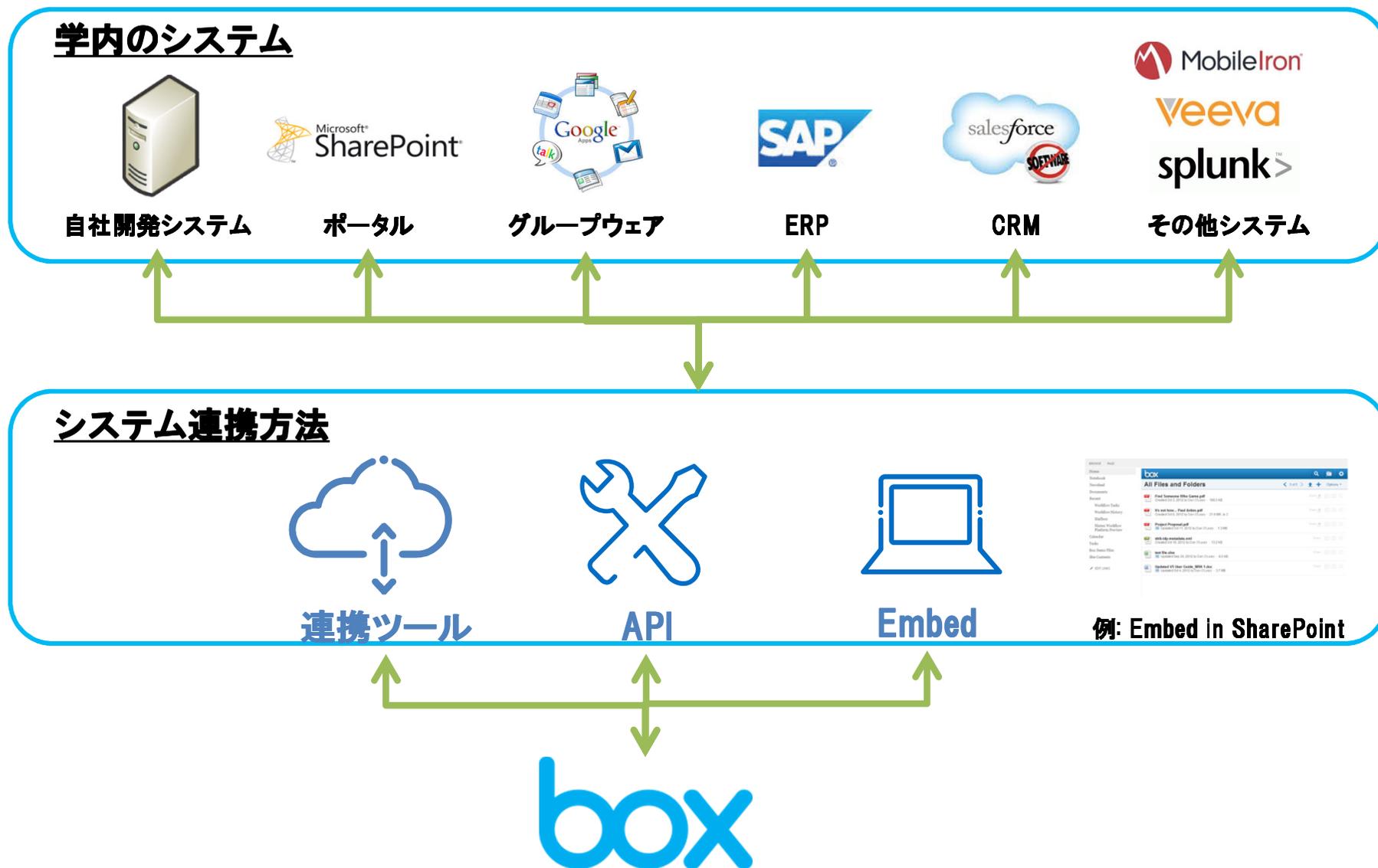


■BOX Over VPN

AT&TとNTTCom がVPN回線を提供してセキュア
 にBOXにアクセス可能になるサービス
 2016年サービス開始予定



Boxは学内の様々なシステムと連携し、各システムのストレージ(コンテンツ保存先)として利用することで、様々なコンテンツを一元的に管理するプラットフォームとして活用することができます。

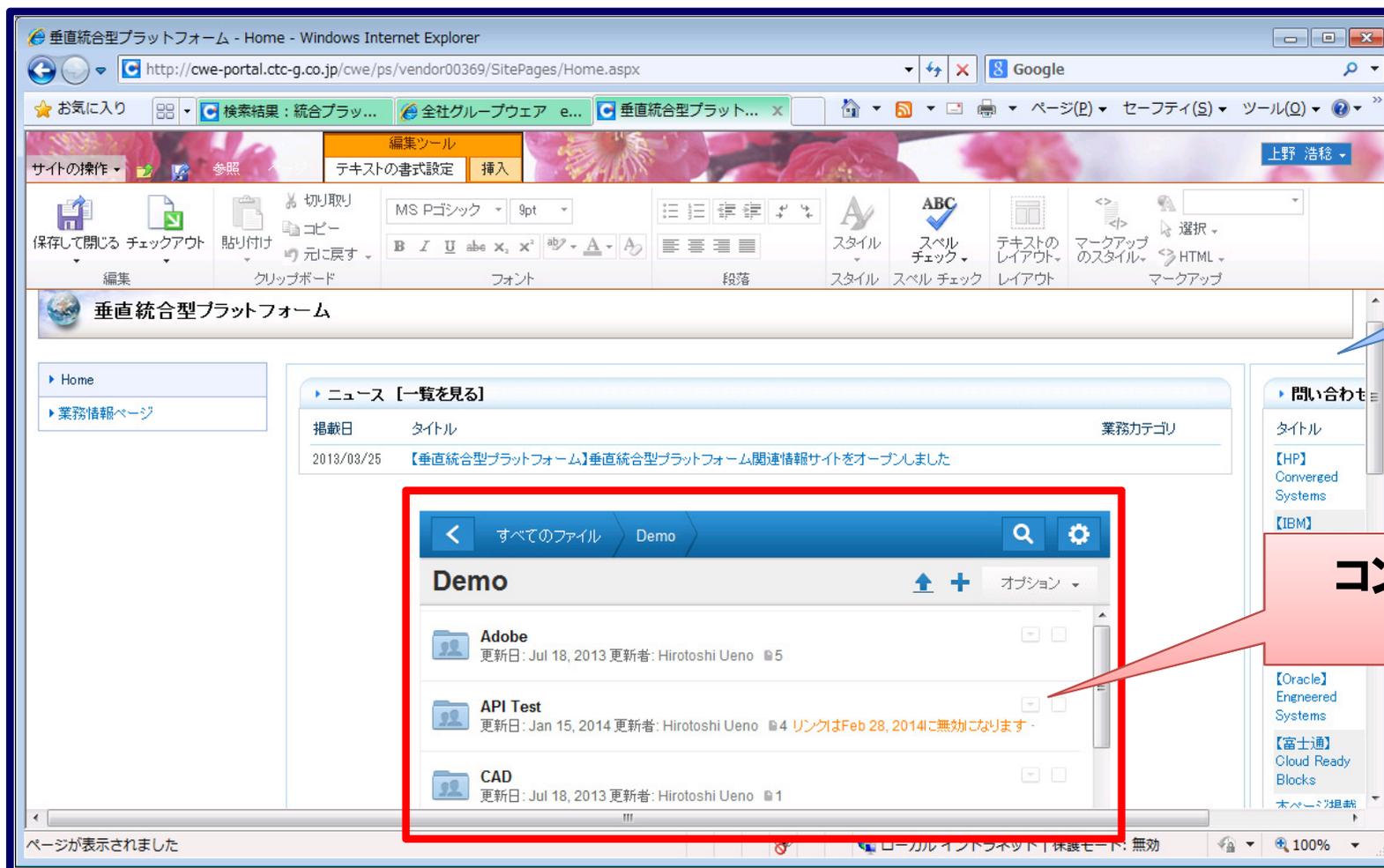


作成例

CTC製品情報ページにBoxの共有フォルダを埋め込み

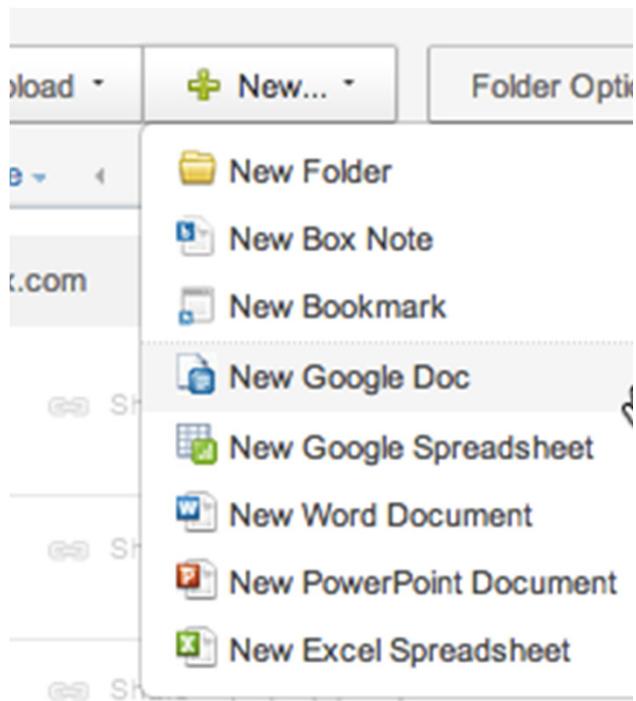
コンテンツファイルをBoxへ保存することで社内外からアクセス可能

社内アクセスでも「プレビューのみ」に指定するなど柔軟なセキュリティポリシーを実現可能



弊社の製品情報ページ
(SharePoint利用)

コンテンツ保管場所
(Box利用)

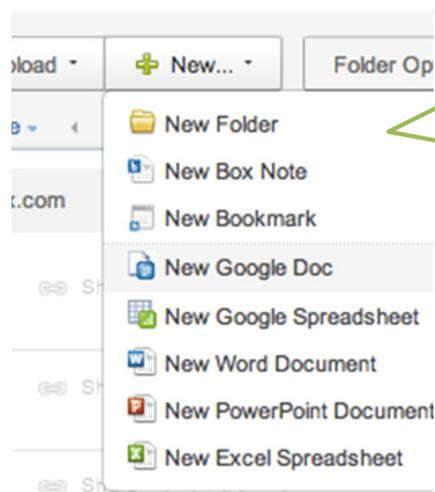


BoxからGoogleドキュメントの新規作成や既存ファイルの編集

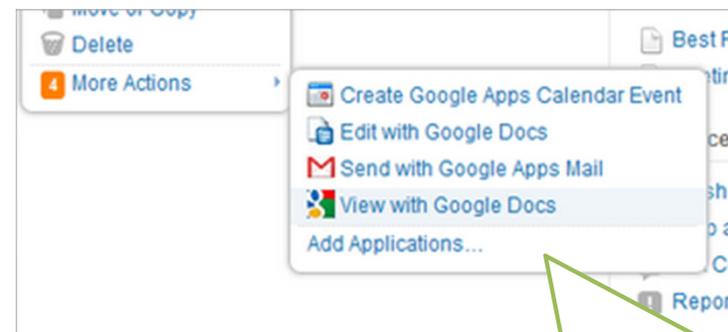
GmailにBoxファイルのリンクを挿入

すべてのGoogleドキュメントを自動的にBoxに保存

より厳密な権限設定、セキュリティ、レポートを必要とするコンテンツをBoxで管理



Google Doc / Spreadsheet
の新規作成

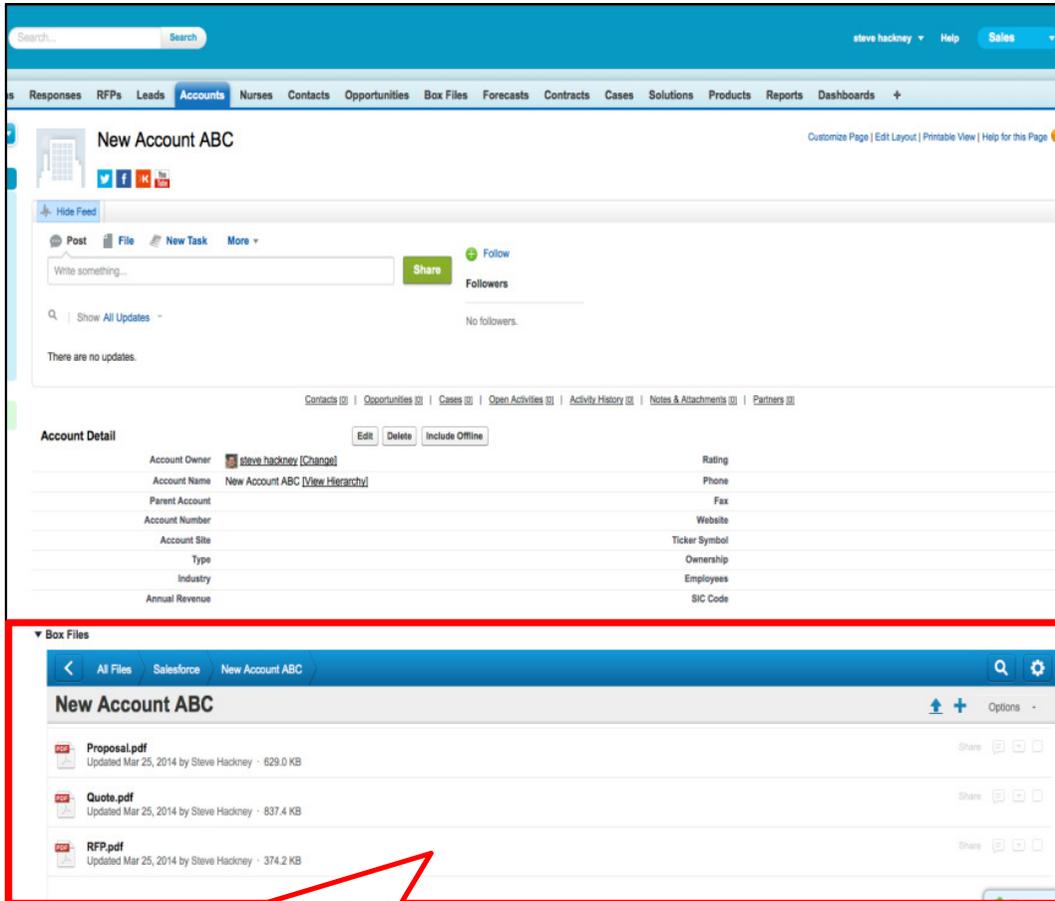


- ・Google Docsの編集
- ・ファイルのリンクをGmailで送信
- ・Google Calendar イベントの作成

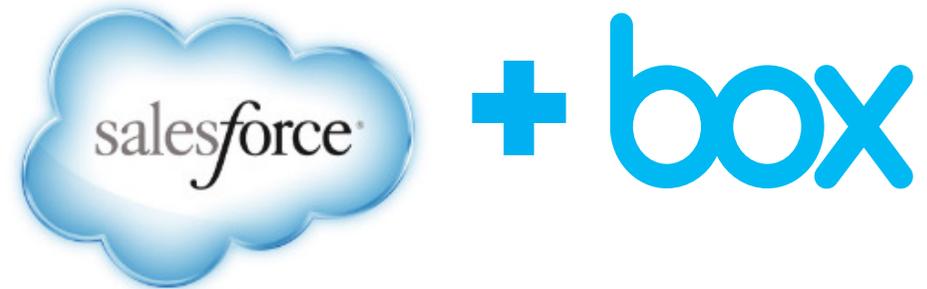
Salesforce と Box を連携することで、コンテンツのアクセス、共有、管理を効率化

Box for Salesforce を使うメリット

- Salesforce の画面から直接 Box にアクセス
- Salesforce の特定レコード(取引先、商談など)に関連したフォルダをすぐに表示
- Box のプレビューやコラボレーション等の機能を活用
- Box が連携している他のアプリケーションとの連携が容易
- Salesforceのストレージを利用する必要がない
- **Box は容量無制限！！**



Salesforceの画面にBoxの画面を埋め込み
直接Boxにアクセスし顧客情報が参照可能



■ Boxサポートセンター

Boxご利用開始後はサポート窓口が開設。必要に応じてBox社へエスカレーションを行い、お客様の問い合わせに迅速に対応。国内初の代理店として蓄積したノウハウをご利用いただけます。



■ Box導入前トレーニング

管理者向け、フォルダー管理者向け、利用者向けの各トレーニングメニューを完備。ハンズオン又はデモ形式で受講いただくことで、サービスご利用前からBoxの利用方法を習得することが可能です。



■ Boxマイグレーションサービス

CTCは国内大規模事例において数十テラバイトクラスのデータ移行、設計、実装、運用を成功させて着た実績があります。お客様の実情に合わせたマイグレーションプランをご提案可能です。



■ SaaS + On-premise + Data Center ハイブリッド

マルチベンダー対応、国内屈指のデータセンターサービス事業者、全国24h保守体制が可能なCTCならではの多角的なご提案が可能です。必要に応じてコンサルティングサービスのご提案も可能です。

■ サービス連携のご提案



SSOの「Centrify」、MDMの「MobileIron」、メールサービスの「SecurePremium」など複数のSaaSサービスとの連携利用もご提案可能。幅広いラインナップでお客様の利便性を追求いたします。

Consulting プロジェクトベース



- プロジェクト目標の文書化
- ユースケースの分析
- プロジェクトチームと業務関係者の結成
- プロジェクト計画の策定

- 既存ユーザーの取り込み
- SSOの設定
- 連携・追加アプリケーションの調査/構築
- 管理者およびステークホルダー向けトレーニング
- ステークホルダーに対するキックオフ

- 展開チームとプランの文書化
- 構築戦略の定義
- アカウント設定の確定
- フォルダ構成と所有者の設定
- ユーザー準備
- コンテンツの移行
- エンゲージメントプランの作成

- エンドユーザーの利用状況のモニタリング
- 継続運用
- 新しいユースケースの展開

- GO LIVE -



Adopt
利用定着



Optimize
更なる活用



Grow
利用範囲拡大

ユーザが使ってくれない
利用が進まない

最初は盛り上がったが
継続しない

別部門でも利用したい
別の業務でも使えるか
検討したい

利用目的とユースケースが不明確
エンドユーザへのトレーニングが
未実施(不十分)
運用体制(パワーユーザ)の欠如

コミュニケーション不足
未利用機能の提供

今後の方向性や
ロードマップの見えない



- ユースケースディスカッション
- トレーニングプランの検討
- パワーユーザを含めた体制構築

- 利用統計情報の提示
- コミュニケーションプランの検討
- 未利用機能の活用ディスカッション

- 新機能やロードマップの紹介
- パートナー連携ツール紹介

	Personal	Business	Enterprise
概要	Boxのユーザー側機能を体感するための無償版(個人利用)。管理機能はBusinessから利用可能。	社内メンバーを中心とした利用を想定したプラン。基本的な管理機能は利用可能。	社内外のメンバーとファイル共有し、業務効率化に寄与します。全ての機能を利用可能です。
利用者数	1ユーザー	5～無制限	5～無制限
保存容量	10GB	無制限	無制限
1ファイルサイズ制限	250MB	5GB	5GB
主な機能	ファイル共有機能、モバイル対応、ファイル同期	ファイルのパスワード保護、バージョン管理、アクセス権限設定、ログ管理(制限有)	企業ロゴ埋め込み、グループ管理機能、ポリシー機能、外部ユーザーとのフリーファイルコラボレーション、AD連携
サポート	なし	日本語によるメール・電話でのサポート(9:00～18:00) (インシデント制 5インシデント/年、追加インシデント購入可能)	
初期費用	なし	20,000円 (個別対応費用は別途お見積)	
月額費用@ユーザー (税別)	無料	1,800円/ユーザーID (ボリュームディスカウント有り)	4,200円/ユーザーID (ボリュームディスカウント有り)

- + 利用前研修プログラム完備(有償)
(管理者向け、利用者向けにハンズオンとスクール形式を準備しております)
- + **大学様向けEducation Plan 提供可能**
(**全学導入前提、定められたTierに基づき容量制限有、Education向けProfessional Serviceも提供可能**)

※社員数1,000名を超えるお客様の場合は、最低利用者数は20IDからとなります。

※上記は2014年11月1日時点の内容です。

※サービスメニュー及び価格は変更される場合がございます。

お問い合わせ先



Challenging Tomorrow's Changes

伊藤忠テクノソリューションズ
情報通信事業企画室
クラウドサービス営業部
box@ctc-g.co.jp